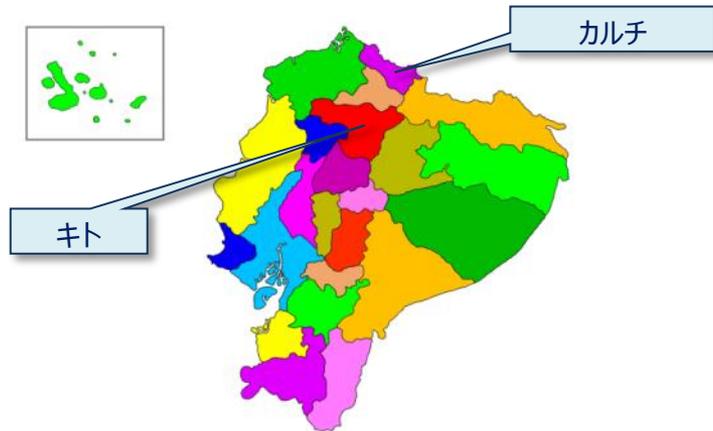


## 「ウアケル地区穀物集積所建設計画」

在エクアドル日本国大使館において、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ウアケル地区穀物集積所建設計画」のための、当館とカルチ県による贈与契約署名式が行なわれました。

カルチ県ミラ市ファン・モンタルボ自治区ウアケル地区地区住民は2010年に「発展への一歩組合」を設立し、銀行からの融資を受け、海外へ移住した地主から96ヘクタールの農地を購入しました。現在、22農家で構成されている同組合は、組合員及び周辺の約100農家と共に栽培方法や生産性向上のための活動を行っています。同地域での豆の年間生産量は約210トンあります。しかし、収穫した穀物を適切に乾燥、脱穀、梱包、貯蔵できる施設及び機材が無いため、収穫時期を狙って豆を買い取りに来る仲介業者に売るより他に現金を獲得する手段がありません。豆の収穫時期の市場価格は年間平均より低い上、仲介業者の買い取り価格は、その市場価格よりさらに3割ほど安く、また、長期貯蔵ができないことから、纏まった量での交渉が困難であり、時期外れに卸すなどの融通も利かない状態にあります。

本計画は、前述の地区において新たに集積所建設及び機材整備をすることで主要穀物の流通改善、品質管理の向上、付加価値・交渉力の増進、零細農家の生活の質向上に貢献しようとするものです。



供与額: 8,553,460円  
贈与契約締結日: 2014年11月25日

### 計画実施前



### 署名式

